

平成19年度 環境保全活動報告書



KSK 湖国精工株式会社

<http://www.kokokuseiko.co.jp>

環境方針

環境理念

湖国精工株式会社は、軸受産業等をサポートする機械設備メーカーとして、地球環境の保全が人類共通の最重要課題であることを認識し、併せて琵琶湖と共生することを意識して事業活動のあらゆる面で環境優先を配慮して行動する。

行動指針

我々は、環境問題への取り組みが我々の存在と活動に必須の要件と認識し、積極的に行動する。

- 1. 環境関連の法律・規制を遵守し、環境汚染の防止に努め、環境マネジメントシステムの構築と、継続的な改善を図る。
- 2. 環境管理の組織・運営を整備し、当社の環境側面に関係して適用可能な法的要求事項及び当社が同意するその他の要求事項を遵守する。
- 3. 環境負荷を軽減させるため次の目的及び目標を明確にして取り組む。
 - (1) 廃棄物の削減および有効利用
 - (2) 社内外における省エネルギー活動
 - (3) グリーン適合製品の調達
- 4. 環境に関する社会活動により、地域社会に貢献する。

環境保全の歩みと取り組み

平成13年2月26日、大津市と[環境保全協定書]を締結する。

(目的)

次の世代により良い環境を引き継いでいくために、大津市・市民・事業者がそれぞれの役割と責任を認識し、快適で環境への負荷の少ない持続可能な街づくりに、自主的・主体的に行動するとともに協働して取り組むことが求められている。

(活動の推進)

事業者は実施可能な範囲で自主的・主体的に環境保全に係る目標等を設けて環境への負荷の低減、資源の循環及びエネルギーの効率化、その他環境保全に係る活動を実施するものとする。

(環境管理体制の整備・充実)

環境保全活動を継続して推進するため、必要な組織を整備し、環境保全に関する方針及び目標を定め、その実施状況を点検しなければならない。

また、環境管理体制はISO14001に沿ったマネジメントシステムの構築また、市の定める手引きに従う整備により行うものとする。

(報告)

環境保全活動の実施状況について取りまとめ、原則として毎年1回、市に報告する。昨年に引き続き、平成19年度の報告を致します。

主な環境取組み

廃棄物の削減及び有効利用

- 木枠・段ボール等の分別と持込む業者への返却・雑廃ゴミ減量化
- 省エネルギー活動
- グリーン適合製品の調達

危険物の貯蔵量の削減

- 代替製品の調査・試行

産業廃棄物の削減

- 含油廃水の削減
- 遠心分離方式検討・長寿命フィルターの検討

用紙の削減(コピー用紙購入量)

- 購入量削減・電子データの活用

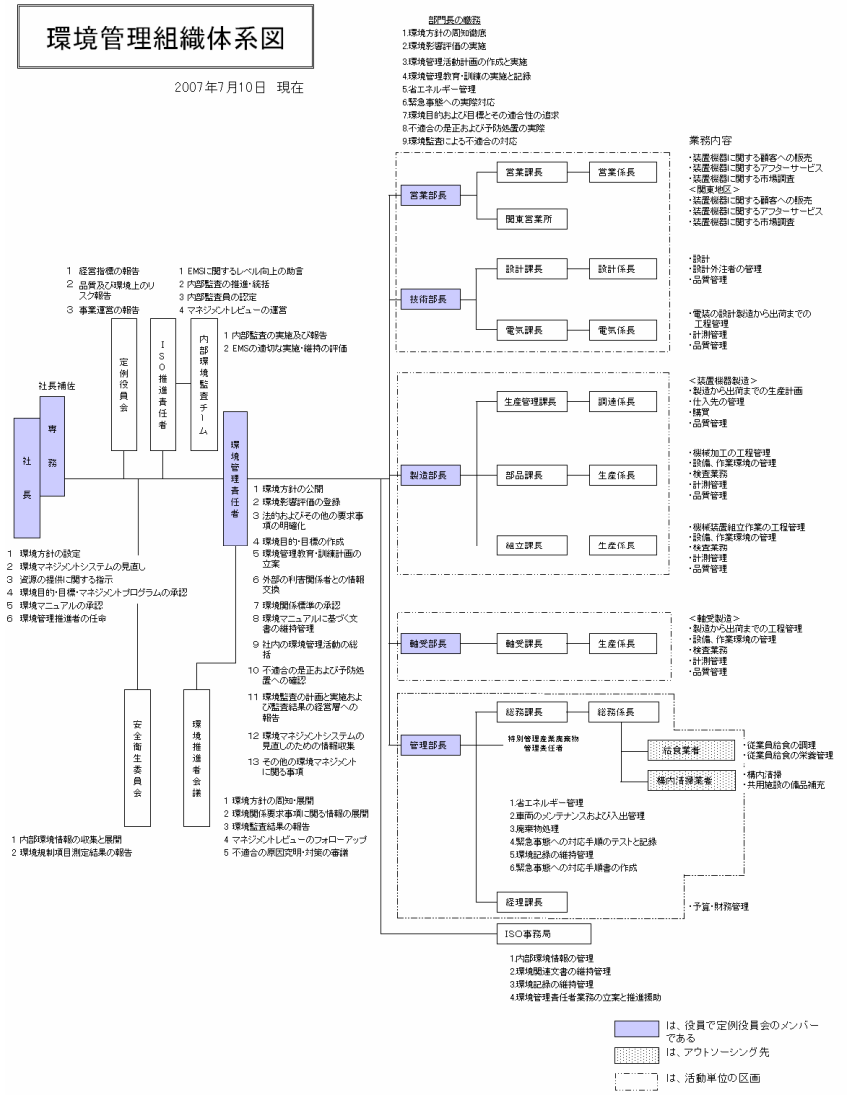
環境に関する社会活動(地域社会への貢献)

- 盛越川の定期清掃などに参画

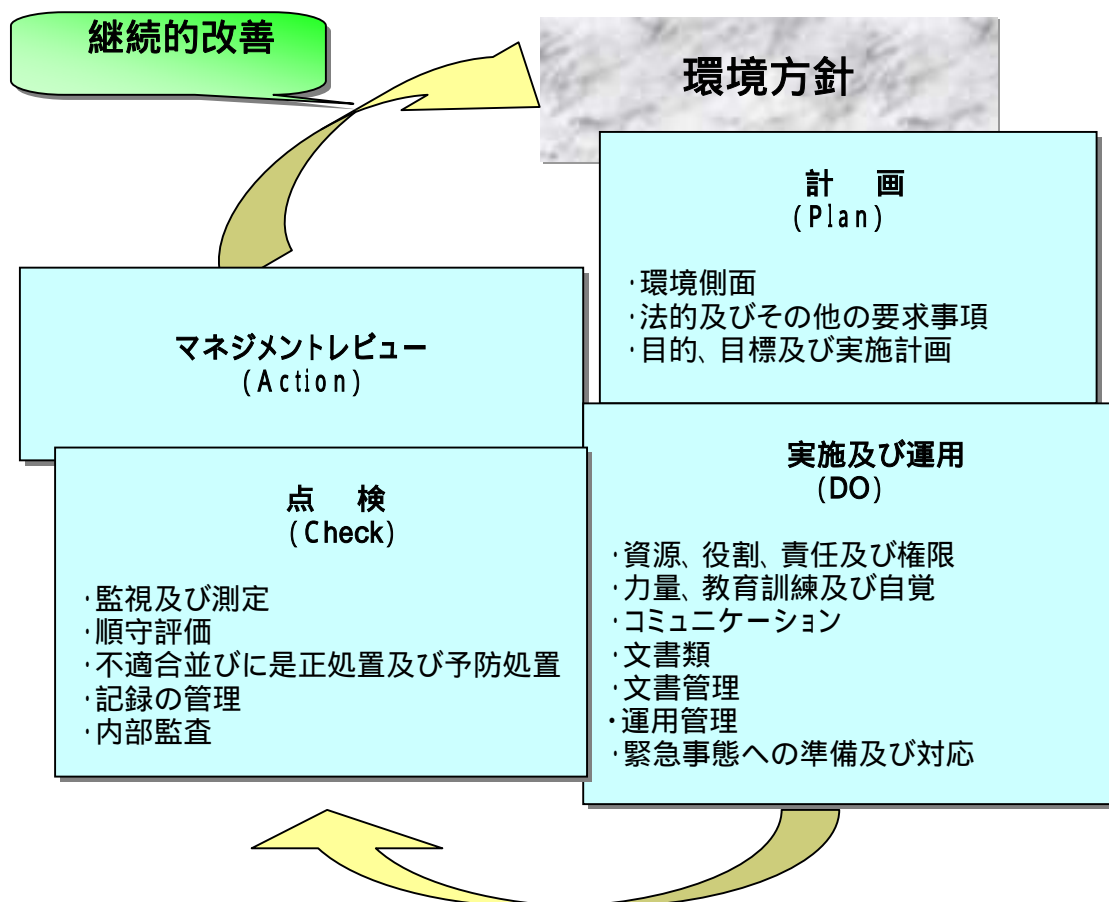
アイドリングストップの要請

- 構内停車時の励行

環境管理組織体系図



～ P・D・C・Aサイクルによる、継続的改善の管理システム～



P-D-C-Aのサイクルで構成されているシステムで、このシステムを運用することにより継続的改善を目指す。

汚染の予防と環境関連法規制の遵守が要求されており、これに対するシステム構築と運用を行なう。

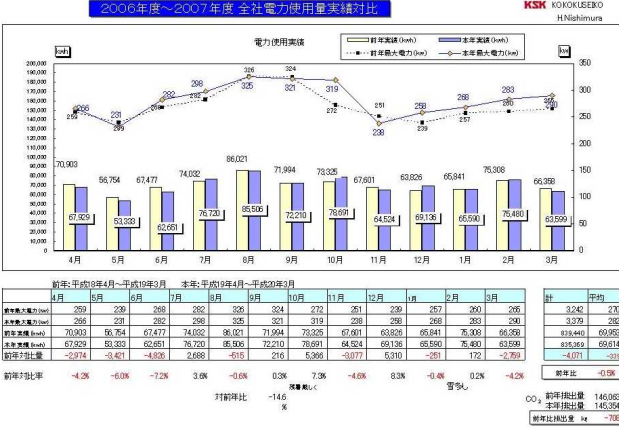
環境方針及び目的・目標を定め、体系的な改善を行うために環境影響の原因である環境側面を抽出し、これの管理・改善を行う。環境影響を出してから対策するのではなく、発生源の管理・改善を目指している。

環境影響の著しいものを取上げ、重点的に管理・改善を行う。

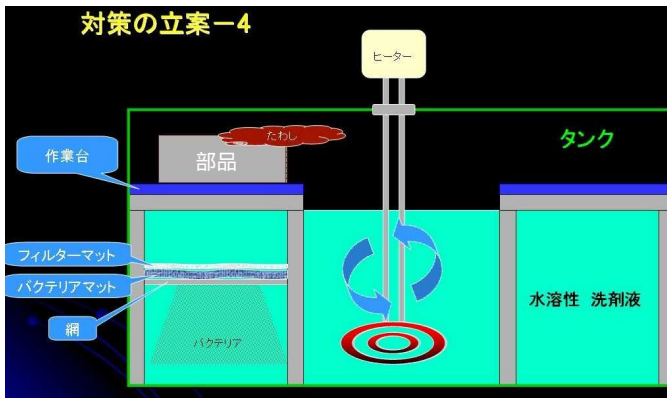
あらゆる組織に適用できるシステムで、システム導入は組織の自主的な活動により行なわれ、トップの方針に基づき、全員参加で環境負荷を低減するシステムである。

平成 19 年 度		
	目 的	目 標
環境方針	廃棄物の削減 及び有効利用	・木枠・ダンボール等の分別と持込み業者への返却 ・雑廃ゴミ減量化(75,000円/月へ節減)
	社内外における 省エネルギー活動	・使用電力量の削減 使用量68,600kwh/月へ
	グリーン適合製品 の調達	・グリーン適合製品調達範囲拡大 事務用品調達金額比 65%/月へ
著しい環境側面	危険物の貯蔵量 の削減	・危険物購入単位の縮小・有機溶剤の代替品への切替 ・塗料缶置場の見直し
技術上の課題	産業廃棄物の削減	・含油廃水の削減・・・26,500L/年 (切削液寿命1.5倍へ) ・遠心分離方式検討・長寿命フィルターの検討
事業上の要求事項	用紙の削減	・コピー用紙購入量の削減 目標月平均48,500枚 ・電子データの活用
利害関係者の課題	環境に関する 社会活動 (地域社会への貢献) アイドリングストップ の要請 隣地境界の騒音・悪臭・ 振動等の定期監視	・盛越川の定期清掃などに参画 (ふるさと盛越川を愛する会に参加) ・構内停車時の励行 (外部業者へのPR) ・定期的な計測実施による監視

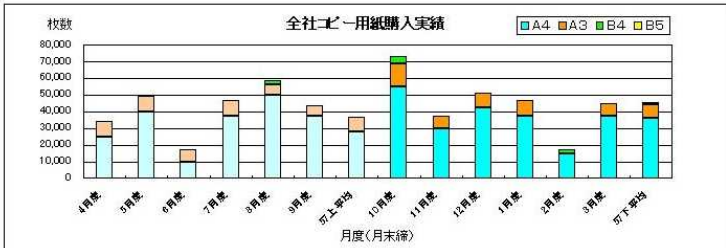
		平成19年度	
		施策	実施
環境方針	・持込業者へダンボール等の引き取り要請	・通い箱の活用とダンボール類の回収継続 廃棄運搬処理費用	前年通期 930,300 円 環境目標 900,000 円 実績 982,463 円 前年比 52,163 円 及ばず計画をクリアはできなかった。 ・月額では75,000円/月以下を目指したが、平成19年度は81,872円/月平均となり達成率90.8%
	・全社使用電力の削減	電力量	前年通期 839,440 kwh 環境目標 823,182 kwh 実績 835,369 kwh 前年比 -4,071 kwh 環境目標には僅か届かなかったが、前年比-0.5%を達成
	・グリーン適合製品調達範囲拡大	・事務用品適合製品調達金額比65%以上を目標とし、平成19年度(20年3月末)65.1%であった。達成率104% 各部署での環境商品選定だけでなく、発注窓口が総務一括であるため、大口の見積りや印刷物見直し等により底上げが進んだ。	




		平成19年度	
		施策	実施
著しい環境側面	<ul style="list-style-type: none"> ・有機溶剤のPRTR非該当製品への切替検討 ・塗料缶置場の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・シンナーに替わるものを調査・テスト実施した。現状では強臭や高コストで対応しきれず。調査を継続する。 ・少量危険物貯蔵取扱所を設置し、基準量を超えないように毎日点検を実施、継続中。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命フィルターによる切削液寿命の延長 ・遠心分離方式・濾過方式の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・製造部部品課において切削液の交換低減を狙い、フィルターを選定・試行。現状では稼動機械で運用しているが詳細な数値化を進め、延長度合いを測定中。 ・部品洗浄に使用する設備において昨年取組んだドライアイス洗浄とは別に新たな取組みとして検討を開始した。洗浄時に残る油分をいかに低減させ、再利用することで廃水としないかを検討し、バクテリアを利用した洗浄設備をテスト稼動中。バクテリアは熱で活性し、洗浄時の油分をいわゆる餌として食べる。これにより洗浄液の長寿命化を図る。 	



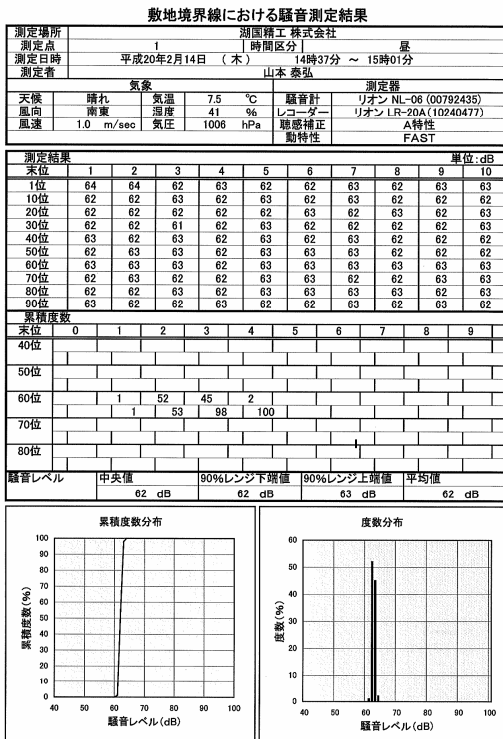
(社内発表資料抜粋)

		平成 19 年度																																																																																											
		施 策	実 施																																																																																										
事業上の要求事項	<p>・コピー用紙購入量の把握と追跡</p>	<p>全社で購入しているコピー用紙は、月平均目標48,500枚を設定、通期平均で43,375枚となり110.6%の達成となった。</p> <p>FAXのダイレクトメールも多く、問題であったが、改善活動を通して電子化を実施。PC画面上で出力することなく削除できるようにした。社内メールの普及も進み、又データの共有も促進されていることから大きな効果に繋がってきた。</p>	 <p>全社コピー用紙購入実績</p> <table border="1"> <caption>全社コピー用紙購入実績データ (単位:枚)</caption> <thead> <tr> <th>月別</th> <th>4月度</th> <th>5月度</th> <th>6月度</th> <th>7月度</th> <th>8月度</th> <th>9月度</th> <th>97上平均</th> <th>10月度</th> <th>11月度</th> <th>12月度</th> <th>1月度</th> <th>2月度</th> <th>3月度</th> <th>97下平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A4</td> <td>25,000</td> <td>40,000</td> <td>10,000</td> <td>37,500</td> <td>50,000</td> <td>37,500</td> <td>28,125</td> <td>55,000</td> <td>30,000</td> <td>42,500</td> <td>37,500</td> <td>15,000</td> <td>37,500</td> <td>36,250</td> </tr> <tr> <td>A3</td> <td>9,000</td> <td>9,000</td> <td>7,500</td> <td>9,000</td> <td>6,000</td> <td>6,000</td> <td>8,625</td> <td>13,500</td> <td>7,500</td> <td>9,000</td> <td>9,000</td> <td>0</td> <td>7,500</td> <td>7,750</td> </tr> <tr> <td>B4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2,500</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5,000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2,500</td> <td>0</td> <td>1,250</td> </tr> <tr> <td>B5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>34,000</td> <td>49,000</td> <td>17,500</td> <td>46,500</td> <td>58,500</td> <td>43,500</td> <td>41,500</td> <td>73,500</td> <td>37,500</td> <td>51,500</td> <td>46,500</td> <td>17,500</td> <td>45,000</td> <td>45,250</td> </tr> </tbody> </table> <p>半期累計 249,000 通期 520,500 通期平均 43,375</p>	月別	4月度	5月度	6月度	7月度	8月度	9月度	97上平均	10月度	11月度	12月度	1月度	2月度	3月度	97下平均	A4	25,000	40,000	10,000	37,500	50,000	37,500	28,125	55,000	30,000	42,500	37,500	15,000	37,500	36,250	A3	9,000	9,000	7,500	9,000	6,000	6,000	8,625	13,500	7,500	9,000	9,000	0	7,500	7,750	B4	0	0	0	0	2,500	0	0	5,000	0	0	0	2,500	0	1,250	B5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	合計	34,000	49,000	17,500	46,500	58,500	43,500	41,500	73,500	37,500	51,500	46,500	17,500	45,000	45,250
	月別	4月度	5月度	6月度	7月度	8月度	9月度	97上平均	10月度	11月度	12月度	1月度	2月度	3月度	97下平均																																																																														
A4	25,000	40,000	10,000	37,500	50,000	37,500	28,125	55,000	30,000	42,500	37,500	15,000	37,500	36,250																																																																															
A3	9,000	9,000	7,500	9,000	6,000	6,000	8,625	13,500	7,500	9,000	9,000	0	7,500	7,750																																																																															
B4	0	0	0	0	2,500	0	0	5,000	0	0	0	2,500	0	1,250																																																																															
B5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																															
合計	34,000	49,000	17,500	46,500	58,500	43,500	41,500	73,500	37,500	51,500	46,500	17,500	45,000	45,250																																																																															
<p>・社内規定類保管のデータ - 化</p>	<p>・各種規程類のデータ化推進</p> <p>社内では運営している社員会の規程も情報一元も踏まえ改定時ごとに電子データで閲覧できるようにした。</p> <p>・ファイル管理の共有を念頭に、社内グループウェアの切替を進め一層の一元管理と見える化での紙出力低減を進めた。</p> <p>ISO関連資料等をまず共有。次期には紙による規程類ファイル削減(部署保管分等)を実施する。更なる効果が見込めるため、設備面も含めペーパーレスを推進したい。</p>																																																																																												

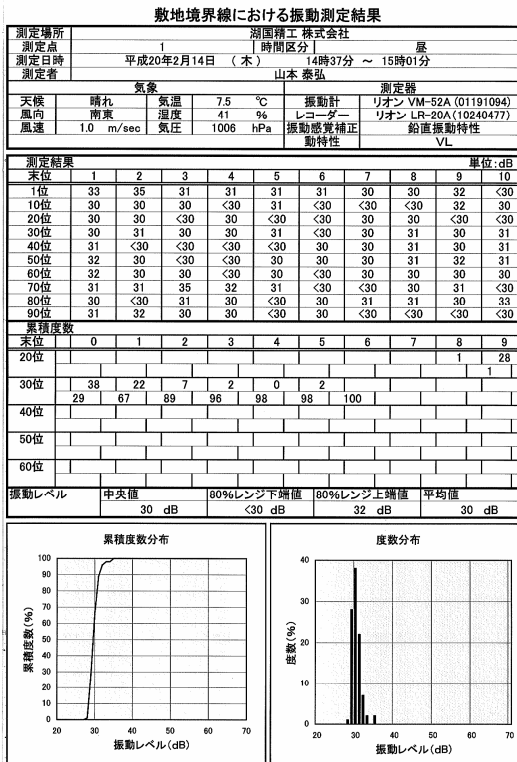
		平成19年度	
		施策	実施
利害関係者の課題	・盛越川の定期清掃 などに参画		<p>・5月・9月・3月に社員延べ47名により盛越川の清掃を行う。</p>   
	・アイドリングストップの 要請		<p>・アイドリングストップ啓発を促すため看板や幟の励行を 継続し、社員と同様の意識共有を推進。</p>  
	・隣地境界の騒音・悪臭・ 振動等の定期監視		<p>・定期的な計測実施による監視 8月及び2月に定例として騒音・悪臭・振動の監視継続中。 又8月に水質検査を実施(24項目)、定例化へ。 基準値に対し全てクリアしている。継続的監視をし、 環境及び近隣住民の皆様への負荷低減に努める。</p> <p style="text-align: right;">(-2及び -3へ続く)</p>

直近平成20年2月(年2/2回目)実績

基準値70dB



基準値65dB



注: 機器の測定範囲が30dB以上である為、<30dBの測定値については29dBとして平均値を計算した

悪臭測定結果 基準値 0.01ppm

測定年月日	平成20年2月14日	時間	10:16~10:36	天候	晴
事業場の名称	湖国精工株式会社				
所在地	滋賀県大津市晴嵐2-3-13				
測定名	敷地境界における有機溶剤濃度測定				
試料採取場所	当該事業場内の敷地境界位置 (①:別紙参照)				

分析結果を次の通り報告します。

測定点	項目名	分析結果(単位: ppm)	分析方法
①	トルエン	0.01未満	活性炭による固体捕集・ガスクロマトグラフ分析法
	酢酸-n-ブチル	0.01未満	活性炭による固体捕集・ガスクロマトグラフ分析法
	キシレン	0.01未満	活性炭による固体捕集・ガスクロマトグラフ分析法
	酢酸エチル	0.01未満	活性炭による固体捕集・ガスクロマトグラフ分析法
	メチルエチルケトン	0.01未満	活性炭による固体捕集・ガスクロマトグラフ分析法
	メタノール	0.01未満	活性炭による固体捕集・ガスクロマトグラフ分析法

直近平成19年8月(年1回)実績 (排除基準値に照合)

計量証明書



整理番号 07CG1028-7-1
2007年 9月 3日

計量証明事業所 第七号
夏原工業株式会社
環境管理部
本社 滋賀県大津市高宮町2688番地
事業所 滋賀県彦根市高宮町2688番地
TEL (0749)-26-3272
環境計量士 堀江 重樹

ご依頼ありました試料について分析した結果を下記の通り証明致します。

試料の名称	下水道放流水	受付年月日	2007年 8月 24日
採取場所	湖国精工㈱②	受付方法	持ち込み
採取日時	2007年 8月 24日 時 分	採取者名	勝野ヨシノブ/ナリス 殿
天候		気温	℃
		水温	℃
コード番号	分析項目	分析結果	分析方法
10-2	水素イオン濃度	7.7(a117.4℃)	JIS K 0102-1998 12.1
10-3	生物学的酸素要求量	97 mg/l	JIS K 0102-1998 21&32.1
	化学的酸素要求量	52 mg/l	JIS K 0102-1998 17
10-4	浮遊物質量	84 mg/l	昭和46年環境庁告示第59号付表8
	n-ヘキサン抽出物質(動-植物油)	1.1 mg/l	報告64付表4及び規格参考1.1
	n-ヘキサン抽出物質(鉱物油)	< 0.5 mg/l	JIS K 0102-1998 参考1.1
10-6	全窒素	1.4 mg/l	JIS K 0102-1998 45.2
10-7	全りん	0.16 mg/l	JIS K 0102-1998 46.3.1
	以下余白		

環告64…昭和49年環境庁告示第64号
規格 …JIS K 0102-1998

計量証明書



整理番号 07CG1028-8-1-1/3
2007年 9月 13日

計量証明事業所 第七号
夏原工業株式会社
環境管理部
本社 滋賀県大津市高宮町2688番地
事業所 滋賀県彦根市高宮町2688番地
TEL (0749)-26-3272
環境計量士 堀江 重樹

ご依頼ありました試料について分析した結果を下記の通り証明致します。

試料の名称	下水道放流水	受付年月日	2007年 8月 24日
採取場所	湖国精工㈱②	受付方法	持ち込み
採取日時	2007年 8月 24日 時 分	採取者名	勝野ヨシノブ/ナリス 殿
天候		気温	℃
		水温	℃
コード番号	分析項目	分析結果	分析方法
10-8	鉛及びその化合物	< 0.001 mg/l	JIS K 0102-1998 55.3
10-9	シアン化合物	< 0.01 mg/l	JIS K 0102-1998 38.1, 2&3&8.3
10-10	有機磷化合物	検出されず	昭和49年環境庁告示第64号付表1
10-11	鉛及びその化合物	0.008 mg/l	JIS K 0102-1998 54.3
10-12	六価クロム化合物	< 0.01 mg/l	JIS K 0102-1998 65.2.2
10-13	砒素及びその化合物	0.016 mg/l	JIS K 0102-1998 61.2
10-14	水銀及びその化合物	< 0.0005 mg/l	昭和46年環境庁告示第59号付表1
10-15	アルキル水銀化合物	検出されず	昭和46年環境庁告示第59号付表2
10-16	ボリ塩素化ビフェニル	< 0.0005 mg/l	昭和46年環境庁告示第59号付表3
10-19	ジクロロメタン	< 0.002 mg/l	JIS K 0125-1998 5.1
10-20	四塩化炭素	< 0.0005 mg/l	JIS K 0125-1998 5.1
10-21	1,2-ジクロロエタン	< 0.0004 mg/l	JIS K 0125-1998 5.1
	検出されずとは定量下限値未満である。	定量下限値：有機磷化合物 0.1 mg/l アルキル水銀化合物 0.0005 mg/l	

計量証明書



整理番号 07CG1028-8-1-2/3
2007年 9月 13日

計量証明事業所 第七号
夏原工業株式会社
環境管理部
本社 滋賀県大津市高宮町2688番地
事業所 滋賀県彦根市高宮町2688番地
TEL (0749)-26-3272
環境計量士 堀江 重樹

ご依頼ありました試料について分析した結果を下記の通り証明致します。

試料の名称	下水道放流水	受付年月日	2007年 8月 24日
採取場所	湖国精工㈱②	受付方法	持ち込み
採取日時	2007年 8月 24日 時 分	採取者名	勝野ヨシノブ/ナリス 殿
天候		気温	℃
		水温	℃
コード番号	分析項目	分析結果	分析方法
10-22	1,1-ジクロロエチレン	< 0.002 mg/l	JIS K 0125-1998 5.1
10-23	1,2-ジクロロエチレン	< 0.004 mg/l	JIS K 0125-1998 5.1
10-24	1,1,1-トリクロロエチレン	< 0.001 mg/l	JIS K 0125-1998 5.1
10-25	1,1,2-トリクロロエチレン	< 0.0006 mg/l	JIS K 0125-1998 5.1
10-17	トリクロロエチレン	< 0.001 mg/l	JIS K 0125-1998 6.1
10-18	テトラクロロエチレン	< 0.0005 mg/l	JIS K 0125-1998 5.1
10-26	1,3-ジクロロプロパン	< 0.0002 mg/l	JIS K 0125-1998 5.1
10-27	チウラム	< 0.0006 mg/l	昭和46年環境庁告示第59号付表4
10-28	シマジン	< 0.0003 mg/l	報告59付表5第1
10-29	チオベンカルブ	< 0.002 mg/l	報告59付表5第1
10-30	ベンゼン	< 0.001 mg/l	JIS K 0125-1998 5.1
10-31	セレン	< 0.001 mg/l	JIS K 0102-1998 67.2
	以下余白		

環告59…昭和46年環境庁告示第59号

計量証明書



整理番号 07CG1028-8-1-3/3
2007年 9月 13日

計量証明事業所 第七号
夏原工業株式会社
環境管理部
本社 滋賀県大津市高宮町2688番地
事業所 滋賀県彦根市高宮町2688番地
TEL (0749)-26-3272
環境計量士 堀江 重樹

ご依頼ありました試料について分析した結果を下記の通り証明致します。

試料の名称	下水道放流水	受付年月日	2007年 8月 24日
採取場所	湖国精工㈱②	受付方法	持ち込み
採取日時	2007年 8月 24日 時 分	採取者名	勝野ヨシノブ/ナリス 殿
天候		気温	℃
		水温	℃
コード番号	分析項目	分析結果	分析方法
	ほう素およびその化合物	< 0.1 mg/l	JIS K 0102-1998 47.3
10-38	弗素化合物	< 0.08 mg/l	JIS K 0102-1998 34.1
	アンモニウム化合物他 ※	1.7 mg/l	JIS K 0102-1998 42.2及び43.2
	以下余白		

※アモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物

* ISO14001サーベイランス *

平成20年6月18日(水)
第2回目のサーベイランスを受診

平成19年度における環境活動について審査を頂き、
改善の余地5件を指導いただいた。総合判定では『向上』との
判定を頂き、審査機関判定会議へと上申となった。